

漁海況月報

No. 10

平成 15 年 10 月 1 日

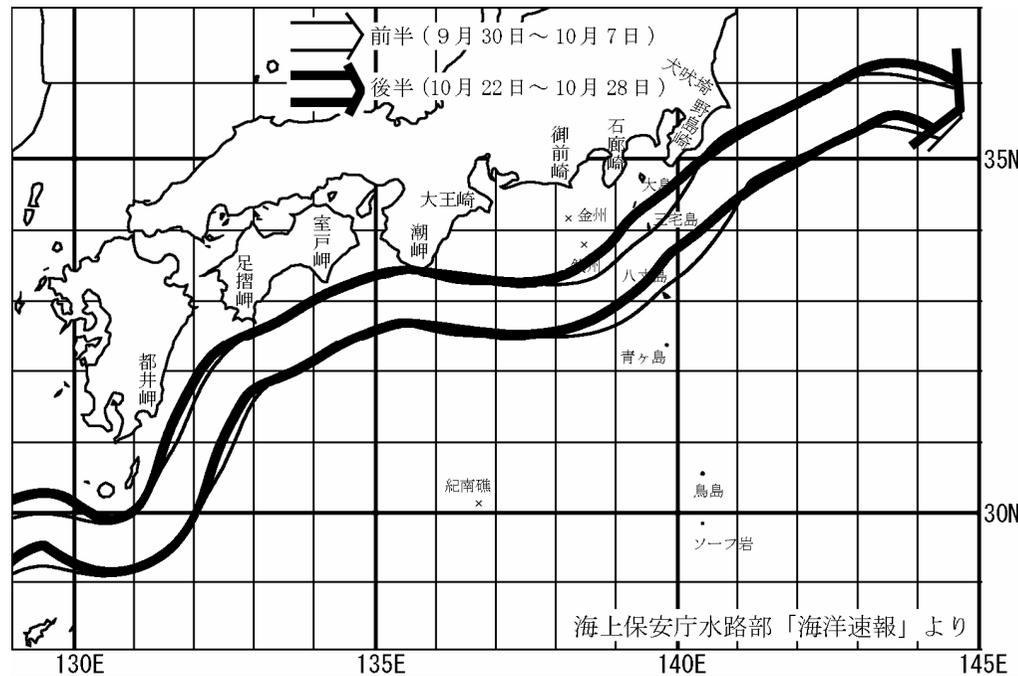
～ 10 月 31 日

静岡県水産試験場

(電話 054 627 4815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558 22 0835)



2003 年 10 月

定地水温の旬平均値 ()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	23.0	22.4	23.0	23.1	23.0	22.9	20.1
	0.9	0.6	0.0	0.4	0.0	0.4	2.3
中 旬	22.0	22.5	22.0	23.7	23.5	22.5	20.5
	0.5	0.1	0.2	0.8	1.1	0.8	0.8
下 旬	21.7	21.7	21.4	22.0	21.7	21.8	19.1
	1.0	0.0	0.1	0.1	0.4	1.0	1.0
月平均	22.2	22.2	22.1	22.9	22.6	22.4	19.9
	0.8	0.2	0.0	0.1	0.4	0.7	1.3

[黒潮流路]

黒潮は、9月に引き続きN型基調で推移し、遠州灘沖33°～33°30N付近を東進、御蔵島から三宅島付近を通過したのち房総沖を北東に流去した。この間、黒潮流軸の変動に伴い、相模湾内には暖水が波及した。

[県下沿岸域]

県下の定地水温は、相模湾側では21～24℃、駿河湾東部では20～24℃、駿河湾西部では18～25℃で経過した。相模湾側の伊東では、平年よりも0.5～1.0℃程度高めとなったが、駿河湾側では平年並みから低め基調であった。特に地頭方の低温化が著しく、平年より0.8～2.3℃低めとなった。

[竿釣近海カツオ]

県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は35トンであり、魚価は349円/kgであった。

静岡県中型竿釣船の記録(QRY)及び御前崎市場での調査によれば、10月の漁況はおおむね以下のとおり推移した。

上旬：38°～41°N、148°～150°E(表面水温17～19℃)の三陸沖に漁場が形成され、小、中、大カツオを漁獲した。静岡県近海では、沿岸竿釣り船が操業し、駿河湾内で中(体長52cmモード)小カツオを漁獲した。

中旬：40°～41°N、152°～154°E(表面水温17～21℃)の三陸沖に漁場が形成されカツオとピンナガを漁獲した。静岡県近海では、沿岸竿釣り船が操業し、黒瀬、新黒瀬で中、大、極小、特大カツオを漁獲した。

下旬：36°～38°N、146°～148°E(表面水温17～23℃)の常磐沖に漁場が形成され、中、小、大、極小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
15年10月上旬	9	5	1.8	345
中旬	6	3	2.0	630
下旬	20	5	4.0	259
15年10月計	35	13	2.8	349
14年10月計	21	11	1.9	633
13年10月計	0	0		

[定置網]

平成15年10月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は208トンであった。1漁場当たり水揚量26.0トンは、前年50.8トンの51%、平年値(昭和57～平成14年平均値)41.0トンの63%であった。

魚種別にみると、マアジ43.3トン(前年の1.6倍、平年の1.4倍) サバ類40.5トン(前年の1.7倍、平年の56%) マルソウダ30.9トン(前年の74%、平年の72%) ヤマトカマス12.6トン(前年の3.1倍、平年の81%) イサキ10.1トン(前年の20%、平年の82%)の順に多かった。

マアジは谷津を中心に当歳魚主体で入網し、尾叉長のモードは16~17cmであった。サバ類は川奈を中心に入網し、ゴマサバの尾叉長の中心は26~31cmであった。マルソウダは北川を中心に入網し、尾叉長の中心は27~30cmであった。ヤマトカマスは北川及び伊豆山を中心に入網し、尾叉長の中心は22~26cmであった。イサキは北川及び赤沢を中心に入網し、両漁場を合わせるとイサキ全漁獲量の約7割を占め、尾叉長の中心は16~24cmであった。

漁場別水揚量は、サバ類及びボラの漁獲が多かった川奈(45.8トン)、マルソウダの漁獲が多かった北川(42.4トン)、マアジの漁獲が多かった谷津(31.8トン)の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

10月に小川港に水揚げされたサバ類は806トンで、すべてゴマサバであった。銭洲を中心とする漁場で操業し、漁獲されたゴマサバのほとんどが体長32cm以下の2002年級群であった。漁獲量が多いことと、小型であることから1kg当たりの平均単価は41円と極めて安かった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成15年 上旬	270	2	10	27.0	銭洲、三宅
10月 中旬	316	3	15	21.1	高瀬、銭洲
下旬	220	2	10	22.0	高瀬、三宅、銭洲
計	806	7	35	23.0	- - - - -
平成14年10月	645	10	42	15.3	高瀬、三宅、御蔵
平成13年10月	687	8	39	17.6	高瀬、中の瀬

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で307kg、遠州灘で315kgだった。主要6港平均では312kgと前年同期(255kg)の122%、平年同期(過去5か年平均:326kg)の96%であった。10月の総水揚量は917トンと、前年同期(607トン)の151%、平年同期(747トン)の123%にあたり、前年、平年ともに上回った。平均単価は715円/kgと平年同期(750円/kg)を若干下回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新 居	65.4	21	310	211	652
舞 阪	268.3	19	843	318	623
福 田	200.9	19	526	382	649
御前崎	69.8	20	238	293	689
吉 田	166.6	21	535	311	705
静 岡	145.7	20	482	302	1,027
平成15年10月計	916.8	-	2,934	(平均)312	(平均)715
平成14年10月計	606.9	-	2,376	255	1,052
平成13年10月計	457.0	-	2,038	224	713

[まき網]

小川港では、マイワシは326.7トン水揚され、平年同期(過去5か年平均:89.8トン)の3.6倍と好調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

沼津港では、マイワシは484.6トン水揚され、平年同期(110.9トン)の4.4倍と好調であった。カタクチイワシは水揚されなかった。

静浦港では、マイワシは0.1トン水揚され、平年同期(41.2トン)の0.3%と不調であった。カタクチイワシは2.9トン水揚され、平年同期(25.6トン)の11%と不調であった。

伊東港では、マイワシは16.9トン水揚され、カタクチイワシは水揚されなかった。

[サクラエビ船曳網]

平成15年秋漁は10月30日夜が初漁となった。10月は2日間出漁し、初日は漁場探索、翌日は三保沖から安倍川沖が主な漁場となった。

水揚量は2日間で64トンと、昨年度を大きく上回った。漁獲されたサクラエビは、27mmにモードを持つ当歳エビと41mmにモードを持つ1歳エビで構成されたが、例年とは異なり、1歳エビが主体となって漁獲された。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成15年10月 上旬	-	-	-	-
中旬	-	-	-	-
下旬	64	2	平均 533	漁場探索、三保~安倍川沖
平成15年10月 計	64	2	平均 533	-
平成14年10月 計	4	1	平均 60	漁場探索
平成13年10月 計	30	1	平均 497	漁場探索

[調査船の動向]

富 士 丸

10月10日 ペンドック修繕工事終了のため、藤高造船より回航(1日間)
10月14日~ 南方カツオ調査(15日間)

駿 河 丸

10月6日 ペンドック修繕工事終了のため、焼津ドックより回航(1日間)
10月7~8日 地先定点観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(2日間)
10月14~15日 駿河湾内にてサクラエビIKMT調査(2日間)
10月16~17日 駿河湾内にて名古屋大の地殻変動計調査(2日間)
10月20日 駿河湾内にて公共用水域水質調査(1日間)
10月22~23日 駿河湾内にて静大の深層水調査(2日間)
10月27~28日 銭洲・ヒョウタン瀬にてサバ漁場調査(2日間)
10月29~30日 駿河湾内にてサクラエビ産卵調査(2日間)